

# MISSION・VISION・VALUE 策定について



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

2025年5月23日

# はじめに

日本ソフトテニス連盟は、1924（大正13）年に創立して以来、ソフトテニスの振興に努め、多くの選手や指導者とともに競技の成長を支えてまいりました。そして、2024年に創立100周年を迎え、この歴史的な節目を機に、これまでの歩みを振り返るとともに、次の100年に向けた新たな指針を定めます。

日本ソフトテニス連盟は、これまでソフトテニス競技の普及と強化を推進し、多くの成果を上げてきました。しかし、社会環境の変化やスポーツに対する価値観の多様化に伴い、組織の役割や求められる使命も変化しています。このような中、関係者が共通の価値観を持ち、一丸となって活動を進めるためには、連盟としての「使命（Mission）」「目指す未来（Vision）」「大切にすべき価値観（Value）」を明確にする必要があります。

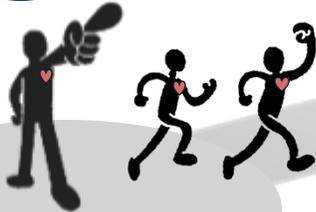
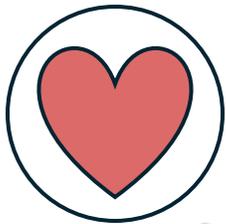
100周年を迎えた今、日本ソフトテニス連盟の存在意義を再定義し、競技のさらなる発展と社会への貢献に向け、その指針としてMVVを策定します。このMVVを通じて、ソフトテニスを愛するすべての人々とともに、次世代につながる新たなステージへと歩んでまいります。

**MISSION・VISION・VALUEを策定し、新たな推進力を生み出す**

## MISSION・VISION・VALUE 位置付け

## MVVとは？

**MISSION**  
社会的使命・活動の軸になるもの

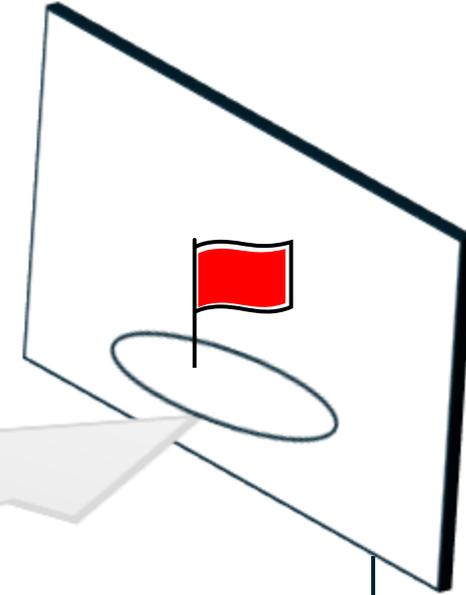


事業計画 (HOW)



**VALUE (価値観／行動基準)**  
どんな行動を大切にしたら組織としていい行動になるのか？  
どんな価値観 (基準) があれば良い決断を下せるか。

**VISION**  
目指す姿・ワクワクする未来像



中期計画 (HOW)

(案)

# MISSION

## 日本発祥のソフトテニスを継承・発展させ

## 誰もがこのスポーツを通じて、自らの人生をデザインできる社会を築く

### 日本発祥のソフトテニスを継承・発展させ

私たちは時代に合わせた知恵と工夫により、ソフトテニスを生み出し、様々なプレイスタイルを可能にしながら、国際的な競技へと発展させてきた歴史を持っています。これまでラケットスポーツを代表する競技として、ボールを打ち合う楽しさや仲間と協調する大切さと共に、戦術を駆使する深みを伝えてきました。日本発祥のソフトテニスを継承し発展させることは私たちの使命であり、次なる100年において人々の人生をさらに豊かなものにします。

### 誰もがこのスポーツを通じて、自らの人生をデザインできる社会を築く

ソフトテニスは子どもから高齢者まで体を動かす喜びや仲間とプレーする楽しみを与えてくれるスポーツです。私たちは、この競技の多様な楽しみ方や奥深さを通じて得られる経験が、日々の行動や考え方に影響を与え、最終的には「自分らしい人生」を築くことに繋がると信じています。ソフトテニスを通じて、一人ひとりが尊重される平和な社会の実現に貢献していきます。

## 人生をデザインする

ソフトテニスを通して、個人の能力開発や社会との関わりが生まれることで、豊かな人生の実現を目指す。

### 1. ソフトテニスを通じた自己成長

- ・技術向上や試合での経験を通じて、目標達成能力、課題解決能力、判断力などを養う。
- ・団体戦やコミュニケーションを通じて、協調性やリーダーシップを身につける。

### 2. ソフトテニスを通じた社会との繋がり

- ・地域や世代を超えた人々との交流を通じて、コミュニティへの貢献や社会との繋がりを深める。
- ・ソフトテニスの指導や普及活動を通じて、次世代の育成や社会貢献を行う。

### 3. ソフトテニスを通じた豊かなライフスタイルの実現

- ・ソフトテニスを生涯にわたって楽しみ、健康維持や充実した余暇活動に繋げる。
- ・ソフトテニスを通じて得た経験やスキルを、キャリア形成や自己実現に活かす。

# ソフトテニスがもっと身近になり、 日常につながる新しいライフスポーツへ

ソフトテニスは、学校教育の中で広まり、多くの人々に愛されてきました。これまで根づいてきた価値を大切にしながら、さらに多くの人々がソフトテニスに触れ、楽しみ、関わることのできる新しいスポーツ文化へと発展させていきます。競技の枠を超え、観る・支える・つながるなど、多様なかたちでソフトテニス在日常に息づく世界を目指します。

## 1) プレースタイルや楽しみ方の多様化

- 競技としてだけでなく、ライフスタイルとしてのソフトテニス
- 世代や目的に応じた柔軟な取り組み

## 2) 観戦文化の発展と情報の発信

- 試合を観ることが日常の一部になる
- SNS等の活用によりファンが応援しやすい環境を整える

## 3) テクノロジーの活用

- AI補助審判、試合速報デジタル化や電光掲示板などの設置による大会進化

## 4) コミュニティとのつながりを強化

- 地域における人々をソフトテニスでつなぐ
- 異なる競技や文化と融合したマルチスポーツの推奨

## 5) 国際大会開催の支援と様々な国・地域の競技力向上に貢献

- 国際的な普及活動のさらなる推進
- 新たな戦術と戦略を創造し、世界を先導する競技者や指導者の持続的な育成

# VISIONを考えるための外部環境分析

## Politics

<政治・法的環境要因>



## Economy

<経済的環境要因>



健康

体力低下

社会的責任が求められる

マルチスポーツ、習い事の多様化

少子化

勝利至上主義の衰退

競技が進化しないと世の中から、淘汰される。

スポーツに対する考えの多様化

競技団体の組織基盤強化

## Society

<社会的環境要因>

デジタルツール

人工知能

人間の処理能力

VAR技術

大会の速報性

VR卓球  
→人間の処理能力には追いつかない

## Technology

<技術的環境要因>

## 機会

- 国のスポーツ推進政策（例：スポーツ庁の生涯スポーツ強化）との連携
- スポーツを通じた地域活性
- 健康志向の高まり → 生涯スポーツとしてのソフトテニス普及の余地
- 親世代が元競技者というケースも多く、ファミリー層に訴求しやすい
- デジタル大会管理やエントリーの簡易化 → 大会の運営負荷を軽減できる

## 脅威

- 学校部活動の地域移行で「指導者がいない・場所がない」問題が発生
- 部活離れ、競技スポーツ離れ
- 少子化により中長期的な競技人口の絶対数が減少
- 他競技（例：硬式テニス・バドミントンなど）と比べてIT活用の遅れ
- 趣味の多様性による“競技しない”娯楽との競争激化

(案)

# VALUE

## 開かれた対話

：目的に向かうために壁を越えた自由なコミュニケーションを大切にする。

## 多様性の力

：変革に向けた新しい価値を生み出すために多様な意見を取り入れる。

## 時代を超える挑戦

：社会や自然環境の変化に対応した新しい取り組みに挑戦する。

## 公正な判断と対応

：組織の公正性と透明性を重視する。

## 持続可能な運営

：経済的、社会的、環境的に持続可能な方法で組織を運営する。

価値観/行動基準  
大切にすゝる行動